

令和5年度 名寄市 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

令和6年3月 名寄市教育委員会

令和5年4月から7月に「令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」が実施され、令和6年1月に国から調査結果が届きましたので、名寄市の結果の概要をお知らせいたします。

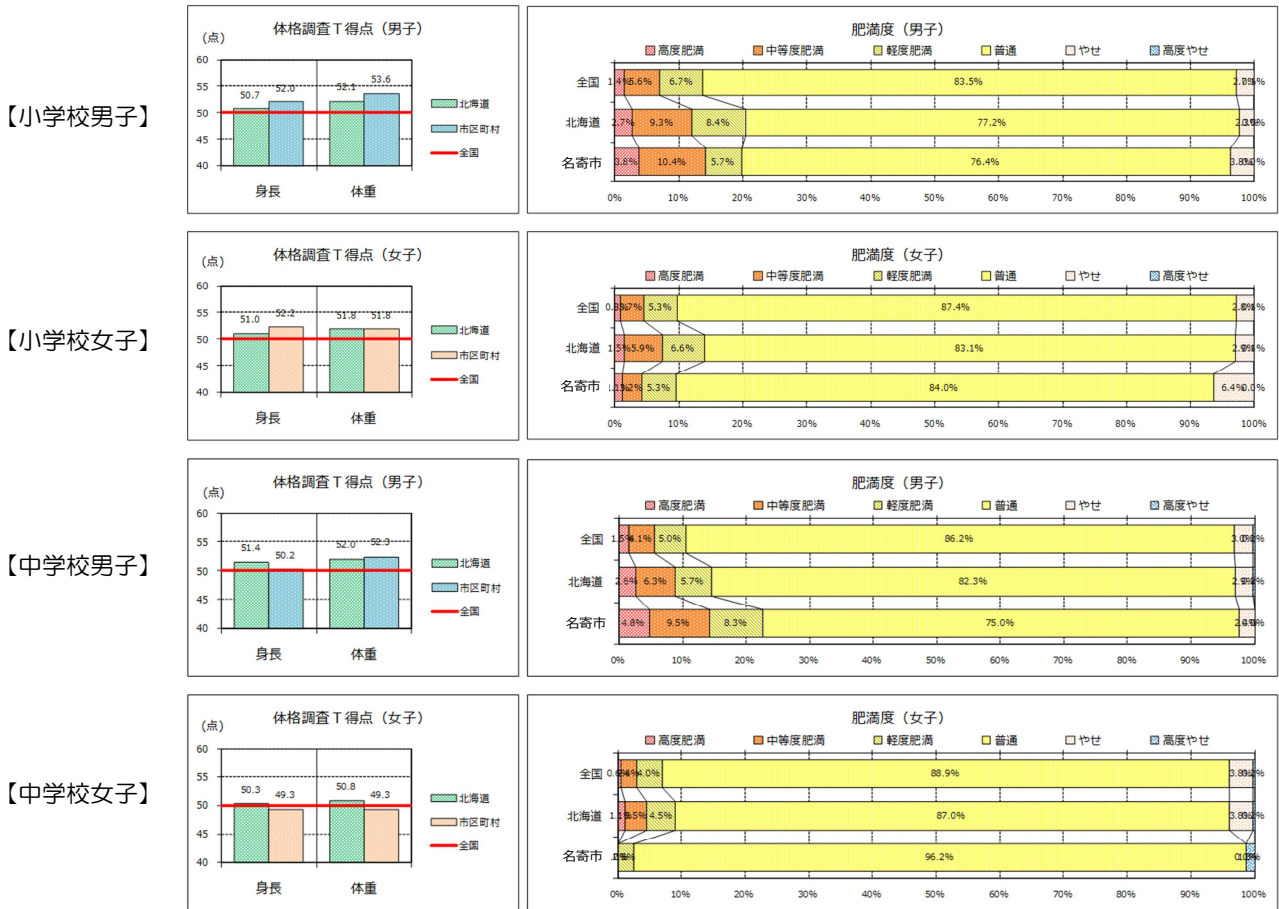
<p>■令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の概要</p> <p>1 調査の目的</p> <p>(1) 教育委員会と学校は、自らの児童生徒の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、児童生徒の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。</p> <p>(2) 各学校は、各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。</p> <p>2 調査の対象</p> <p>小学校第5学年、中学校第2学年の全児童生徒（小学生 203 名、中学生 164 名）</p> <p>3 調査の内容</p> <p>(1)児童生徒に対する調査</p> <p>ア 実技に関する調査（以下、「実技調査」という）</p> <p>＜調査項目＞握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20m シャトルラン、50m 走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ、及び身長・体重</p> <p>イ 質問紙調査</p> <p>運動習慣、生活習慣に関する質問紙調査（以下、「児童生徒質問紙調査」という）</p> <p>(2)学校に対する調査</p> <p>児童生徒の体力・運動能力、運動習慣等の向上に係る学校の取組等に関する質問紙調査（以下、「学校質問紙調査」という）</p>	
---	--

1 体力合計点に関する調査結果（全国比）

令和5年度 体力合計点	小学校		中学校	
	男子	女子	男子	女子
国	52.6	54.3	41.3	47.2
北海道 (札幌市含む)	52.8	54.7	40.0	45.1
名寄市	56.6	59.3	40.8	49.2
	全国より高い	全国より高い	全国とほぼ同等	全国より高い
実技に関する 種目の記録 (全国比)	○成果が見られた種目 ・握力 ・上体起こし ・長座体前屈 ・反復横跳び ・20m シャトルラン ・立ち幅跳び ・ソフトボール投げ ○同等の結果が見られた種目 ・50m 走	○成果が見られた種目 ・握力 ・上体起こし ・反復横跳び ・20m シャトルラン ・50m 走 ・立ち幅跳び ・ソフトボール投げ ○同等の結果が見られた種目 ・長座体前屈	○成果が見られた種目 ・握力 ・上体起こし ・ハンドボール投げ ○同等の結果が見られた種目 ・反復横跳び ・20m シャトルラン ○課題が見られた種目 ・長座体前屈 ・50m 走 ・立ち幅跳び	○成果が見られた種目 ・握力 ・上体起こし ・長座体前屈 ・反復横跳び ・立ち幅跳び ・ハンドボール投げ ○同等の結果が見られた種目 ・20m シャトルラン ○課題が見られた種目 ・50m 走

※体力合計点…種目によって単位が異なる測定値を、単位が共通な 10 点満点の「ものさし（尺度）」に変換し、8 種目の結果を合計した得点（80 点満点）

2 身長と体重の調査からの体格と肥満度に関する調査結果（全国比）

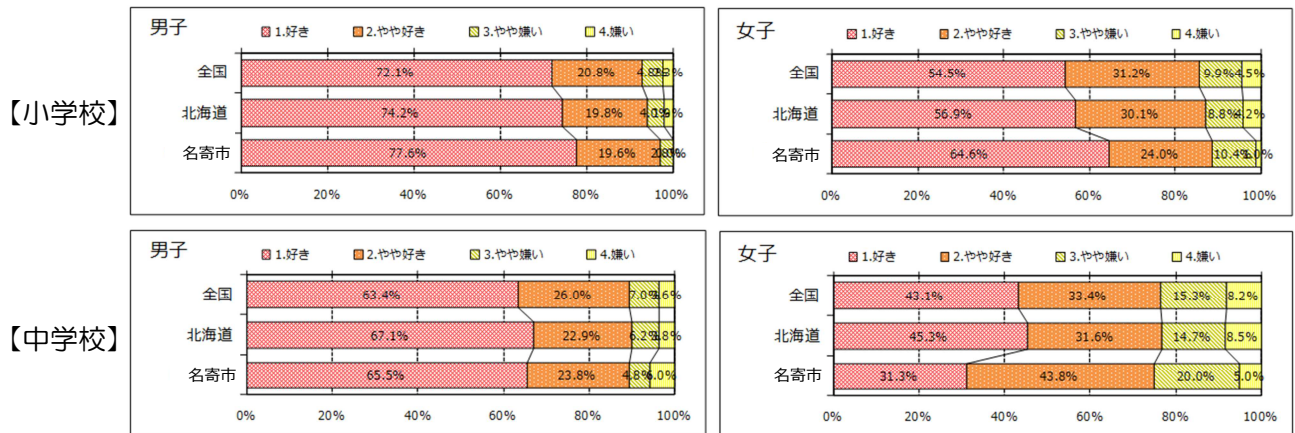


- 小学校男女は、痩せている児童の割合が多い。
- 小学校男子、中学校男子は、高度、中等度、軽度の肥満度の割合が多い。
- 中学校女子は、肥満や痩せている生徒の割合が少なく、普通の割合が多い。

3 質問紙調査に関する結果（全国比）

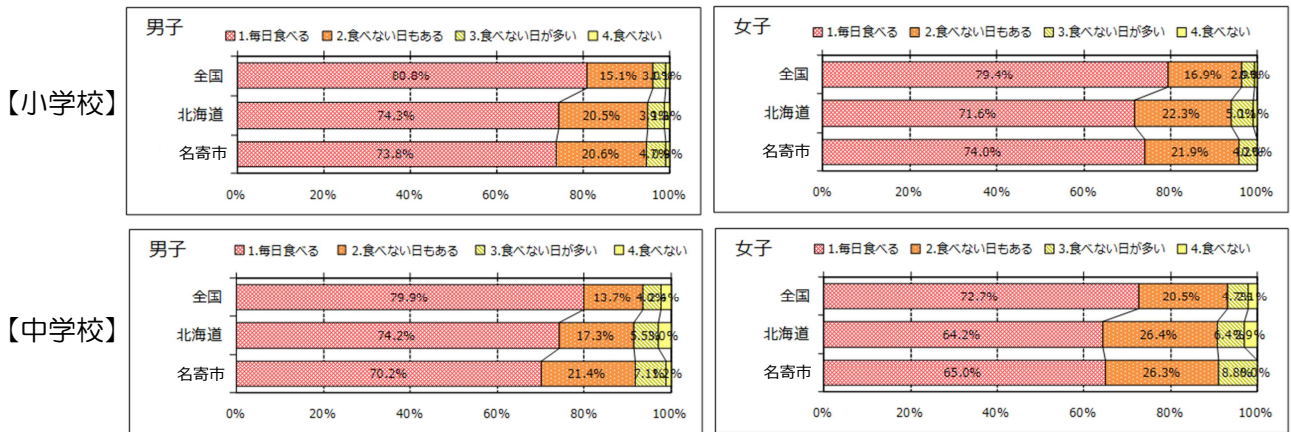
(1) 児童生徒質問紙調査

Q1. 運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。



- 小学校男女ともに、運動やスポーツをすることが「好き」「やや好き」と回答した児童の割合が多く、中学校では男女ともに全国とほぼ同等である。

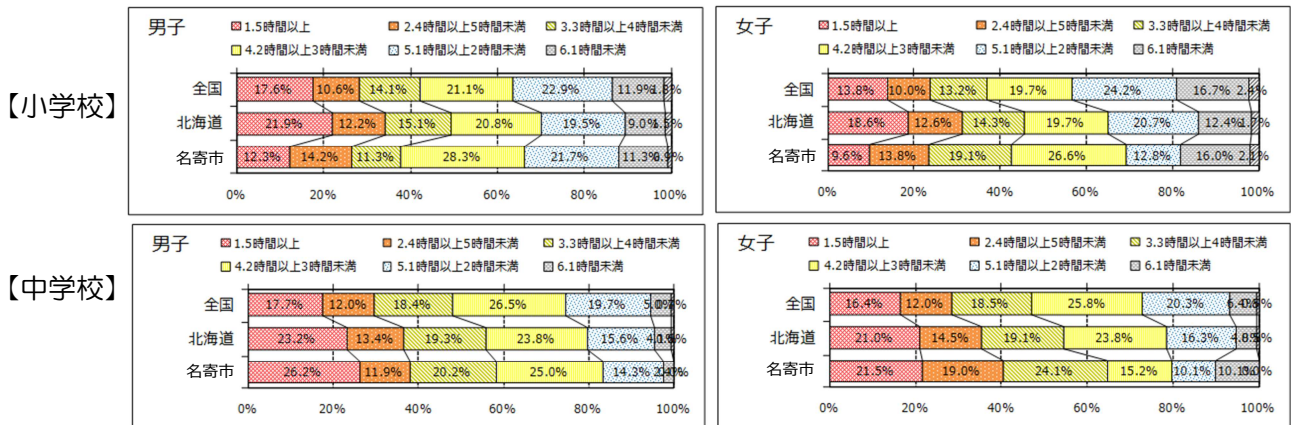
Q6. 朝食は毎日食べますか。(学校が休みの日もふくめます)



○小学校男子、中学校男女は、朝食を「食べない日が多い」「食べない」と回答している児童生徒の割合が多い。

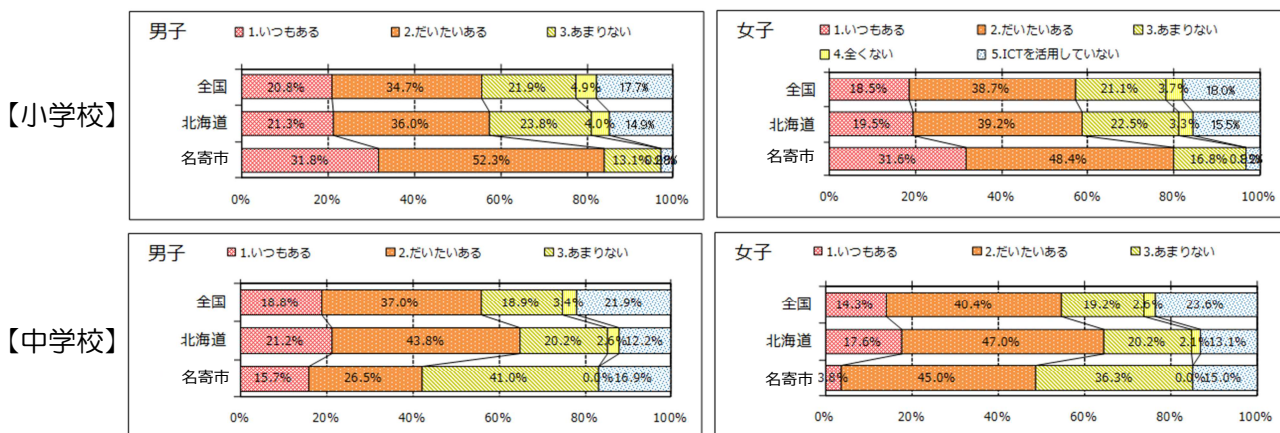
○小・中学校の男女ともに、朝食を「毎日食べる」と回答した児童生徒の割合が少ない。

Q8. 平日(月～金曜日)について聞きます。学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。



○小・中学校の男女ともに、平日に、学習以外でテレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を3時間以上見ていると回答した児童生徒の割合が多い。

Q13. 体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



○小学校男女は、タブレットなどのICTを使って学習することでできたり、わかったりすることが「いつもある」「だいたいある」と回答した児童の割合が多い。

(2) 学校質問紙調査

Q5. 運動やスポーツが苦手(嫌い)な傾向がある児童生徒向けの取組、または技能の程度に応じた取組を現在行っていますか。

○小・中学校ともに、運動・スポーツが苦手な児童生徒向けの取組、能力差に応じた取組を行っている学校の割合が多い。

Q7. 体育・保健体育の授業の冒頭で、その授業の目標(めあて・ねらい等)を児童生徒に示す活動を取り入れていますか。

○小・中学校ともに、授業の目標を児童生徒に示す活動をいつも行っている学校の割合が多い。

Q10. 体育・保健体育の授業では、児童生徒同士で話し合う活動を取り入れていますか。

○小・中学校ともに、授業の中で児童生徒同士で話し合う活動を全ての学年で取り入れている学校の割合が多い。

Q11. 体育・保健体育の授業におけるICTの活用について、どのくらいの頻度で活用していますか。

○小・中学校ともに、体育の授業で週に1時間程度以上ICTを活用している学校の割合が多い。

■分析

- 体格と肥満に関する身長・体重の調査から、小・中学校ともに男子は肥満度の割合が多い結果となりました。
- 体力合計点に関して、1日の睡眠時間が6時間以上の児童生徒は高く、6時間未満の児童生徒の体力合計点は低い結果となりました。
- 体力合計点に関して、平日のテレビやゲーム機、スマートフォンなどの画面の視聴時間が2時間未満の児童生徒は高く、視聴時間が長くなるほど体力合計点は低い結果となりました。

■今後の取組の方向性

- 各学校では、「一校一実践」の体力づくりの取組を進めるとともに、ICTなどを積極的に活用し、運動が楽しいと思える体育の授業を進めていきます。
- 学校と家庭が連携し、「早寝、早起き、朝ごはん」の取組を推進し、生活リズムの改善を図るとともに、外での活動や遊びを奨励し、健康的な生活を送ることができるよう取組を進めます。

自己の夢や目標を実現し、将来自立して生きていくためには、自分で適切な時間を考え、規則正しい生活習慣を身に付けることが大切です。「規則正しい生活」については、リーフレット「時間の目安を決めてこどもの生活リズムを整える！」【改訂版】を参考にすることができます。下記のURLやQRコードより北海道教育委員会のホームページからダウンロードできます。

リーフレット「時間の目安を決めて子どもの生活リズムを整える！」【改訂版】

https://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/gks/jikan_meyasu_h29/3.html

